

米国の生乳生産、春の生産ピークで例年より増加する見通し

コバンクの四季報と米国農務省・経済調査局の報告書から

国際酪農連盟 (IDF) の報告書「世界の酪農情況 2022」によると、米国の 2021 年の牛の生乳生産量は 1 億 262 万 9000 トンと、2020 年に続いて一億トンを超え、インドに次ぐ世界第 2 位だった。また、牛乳乳製品の国内需要は堅調で、脱脂粉乳やチーズの輸出量も大きく伸びたことが報告されている。新型コロナウイルス感染症による行動制限が大きく緩和された 2023 年に入ってから、米国の酪農乳業界では、酪農生産と乳製品輸出のいずれもが引き続き堅調であるようだ。ただし、牛乳乳製品の国内需要は小売価格の高騰などにより比較的低調となることも予想され、世界の主要乳製品輸出国の生乳生産も立ち直ってきていることから、今後の乳価の下落が懸念されている。米国の農業信用制度の一部を構成しているコバンク (CoBank) の経済、物価や農産物の市況に関する四季報と米国農務省・経済調査局 (USDA-ERS) の家畜・酪農・家禽の見通し報告書のそれぞれの最新号である 2023 年 4 月号の酪農乳業の内容を取り上げる。

米国の酪農情勢: IDF の報告書「世界の酪農情況 2022」から(*1)

IDF の報告書「世界の酪農情況 2022」(*1)によると、米国の 2021 年の牛の生乳出荷量は 1 億 215 万 6000 トンとなり、2015 年～2021 年の生乳出荷量は年平均成長率 1.4% で増加した。また、2021 年の米国の主な動向を、以下のように述べている。

米国の牛乳乳製品市場は、2020 年の COVID-19 (新型コロナウイルス感染症) による変動を経て、2021 年には均衡を取り戻した。2021 年の生乳生産は、1 年を通して二つの異なった傾向を示し、上半期は成分調整ベースで 3.9% という驚異的な伸び、下半期は急激に減速して 0.9% の微増となった。この鈍化は、投入コストの上昇が主な原因であり、乳牛頭数の減少を助長した。

一方、需要は年間を通じて増加し続けた。2021 年の牛乳乳製品の国内消費量は 1.3% 増加し、輸出は換算乳量で 9.8% 急増した。実際、輸出数量は国内消費を上回る伸びを

示した。

乳価は、特に COVID-19 ワクチンの配布に伴う国内外の強い需要と、年後半の生乳供給の伸びの鈍化により、卸売、小売、最終的には庭先 (牧場出荷) 乳価が上昇して 2021 年を締めくくることになった。

コバンクとは(*2～5)

コバンク (CoBank) は農業者等に信用を提供する米国の農業信用制度 (Farm Credit System) の一部を構成しており、共同でコバンクを所有する協同組合、アグリビジネス、農村公益事業、その他の農業信用組合に、融資と金融サービスを提供している(*2、3)。

米国の農業信用制度は、1916 年に創設された米国最古の金融関連の政府支援企業 (Government-Sponsored Enterprise) である。農業者、特産農家、林業生産者、アグリビジネス、農業及び地方の公益事業協同組合に融資、リース、および関連サービスを提供している。適格な借り手に他よりも低い金利で融資

を行い、保険および関連サービスを提供することにより、米国の農業に信用の源を提供することを目的としている(*4, 5)。

コバンク「四季報 2023 年 4 月号」の牛乳乳製品に関する記事(*6)

コバンクでは、米国の経済、物価や農産物の市況に関する四季報を発行している。その最新号である 2023 年 4 月号の牛乳乳製品に関する記事は、「余剰の生乳供給を生む米国のスプリングフラッシュ(春の盛り)」(*6)と題し、酪農生産と乳業製造の状況について以下のように解説している。

酪農生産

気温が上昇し、日が長くなるにつれて、米国のスプリングフラッシュが始まる。2 月の米国の生乳生産量は 177 億ポンド(約 800 万トン: 1 ポンド=0.4536 キログラム)で、前年同月比 0.8% 増となり、春季はさらなる増加が見込まれている。

米国の搾乳牛頭数は引き続き拡大しており、生産量の増加は、全体的に生産コストの低い中西部および(グレート)プレーンズの州に偏っている。2 月現在、米国の乳牛飼養頭数は 941 万 7 千頭で、過去 12 ヶ月間に比べて 3 万 7000 頭の中程度の増加にとどまった。しかし、テキサス州とアイダホ州は 2 月に 1 万 2000 頭が増加し、引き続き増加率で全米をリードしている。ただし、カリフォルニア州のサンホアキンバレーの酪農生産者は、過度の降雨と雪解け水に悩まされ、飼料コストの相対的な上昇という圧力が加わっている。

生乳供給量が増加する中、国内需要の低迷が続いていることから、当四半期の初めに、全用途の生乳で、特にプレーンズと中西部での直物(スポット取引)乳販売はクラス価格より

も大幅に割安の乳価をつけた(※連邦ミルク・マーケティング・オーダー(FMMO)の制度における用途に応じた生乳の I ~ IV の四つのクラスの概要については(*7)を参照)。

米国農務省・海外農務局(USDA-FSA)の酪農マージン補償(Dairy Margin Coverage)プログラムによると、1 月の飼料コストを上回る生乳の利幅は 7.94 ドル/100 ポンドで、12 月の 9.76 ドル/100 ポンドから減少し、飼料およびその他の生産コストが依然として高いことから 2022 年 1 月の利幅の 11.54 ドル/100 ポンドを大きく下回った。しかし、ここ数週間は、チーズ価格の高騰により、クラス III 先物はクラス IV に対して 2.00 ドル/100 ポンドの高値を付けている。

世界の生乳のファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)は、依然として弱含みである。米国では生乳供給量が徐々に増加しているが、海外の生産量も立ち直ってきた。昨年 9 月以降、EU の生乳生産量は年平均約 1% の伸びを示し、ニュージーランドは 1 年以上減少していたものの、現在は安定して推移している。乳価の軟調により、今年後半の世界的な生産量の伸びが抑制されることが予想される。

乳業製造

乳業者は、サプライチェーンでの、特にトラック輸送と労働力に関する制約に引き続き苦しんでいるが、スプリングフラッシュの時期の生乳を受け入れるために時間外操業で何とかしのいでいる。チェダーの供給が短期的に集中するため、当四半期の終わりには価格が急上昇したが、長期的な傾向として、今後数ヶ月間は世界経済が減速する中で、チーズ価格が生産の圧力に負けるという見方が続いている。

チーズメーカーの生産量は、1 月が前年同

期比 3.2%増、2 月が同 0.4%増と、期初から過去最高を記録した。バター生産量は、1 月が前年同月比 3.8%増、2 月が同 1.6%増となった。脱脂粉乳の生産量は1月が前年同月比 2.8%増、2 月が同 4.5%増、ホエイ粉末の生産量は 1 月が前年同月比 3.1%減、2 月が同 5.4%減だった。

バターの在庫量は、スプリングフラッシュへと生産が加速するに伴い、昨年急激な減少から回復している。しかし、チーズの在庫は、輸出が堅調であるため、生産ペースがより速くなっているにもかかわらず、減少している。すべての乳製品の堅調な輸出ペースは 2023 年へと続き、1 月の乳製品貿易量は 4 億 6610 万ポンドとなり、この月の記録となった。メキシコは、経済が好調で米ドルに対して通貨が上昇している数少ない国の一つであり、米国産乳製品の主要な輸出先であり続けている。世界経済の減速により、乳製品に対する国際的な需要の減退が懸念される一方、米国では小売価格の高騰が需要の伸びを弱めている。

まとめ

1. 生乳価格は、スプリングフラッシュによる生乳の季節的な生産増と米国の乳牛頭数の増加によって低下している。
2. 米国の乳牛頭数は、比較的生産コストの低い中西部やプレーンズで引き続き増えている。
3. チーズメーカーは、生乳供給量が増加するのに伴い、記録的な量のチーズを生産している。
4. メキシコは依然として乳製品の主要な輸出先であり、1 月の乳製品輸出量は過去最高を記録した。

米国農務省・経済調査局「家畜・酪農・家禽の見通し:2023 年 4 月号」の牛乳乳製品に関する記事(*8)

コバンク四季報が報じた時期とほぼ同時期の状況について、米国農務省・経済調査局(USDA-SRS)では、「家畜・酪農・家禽の見通し:2023 年 4 月号」の中で以下のように報告している。

米国の牛乳乳製品市場の最新動向

2023 年 3 月 11 日までの週から 4 月 8 日までの週にかけて、USDA のレポート(National Dairy Products Sales Report (NDPSR))に報告された乳製品卸売価格の変化の方向は様々だった。チェダーチーズ 40 ポンドブロックの価格は 6.71 セント、チェダーチーズ 500 ポンドバレル(水分 38 パーセントに調整)の価格は 32.22 セント上昇した。また、ホエイ粉末の価格も、1 ポンドあたり 3.61 セント上昇した。一方、脱脂粉乳は 1.35 セント、バターは 1.30 セント下落した。

連休で取引期間が短縮された 4 月 6 日までの週のシカゴ・マーカンタイル取引所(CME)の週次の直物(スポット取引)価格は、ポンド当たりの平均で次の通りであった。チェダーチーズ 500 ポンドバレル 1.7656 ドル、チェダーチーズ 40 ポンドブロック 1.8144 ドル、脱脂粉乳 1.1438 ドル、バター 2.3281 ドル、ホエイ粉末 0.4188 ドル。

USDA のニュース(Dairy Market News)が報告したオセアニアとヨーロッパの平均乳製品輸出価格のほとんどは、オセアニアバター価格の上昇を除いて、2023 年 2 月から 2023 年 3 月まで下落した。

最近の需給データ

米国農務省・全米農業統計局(USDA-

NASS)が発表した最新の生乳生産レポートによると、2023年2月の米国の生乳生産量の速報値は177億ポンドで、前年同月を0.8%上回った。1日の生乳生産量は平均6億3100万ポンドで、前年同月を500万ポンド上回った。2023年2月の乳牛の頭数は平均941万7000頭、牛1頭あたりの乳量は1877ポンドで、いずれの指標も前年同月を上回った。

酪農家に支払われる生乳の庭先(牧場出荷)価格が前年同月より低下し、主要な飼料コストは上昇した。NASSが農業物価レポートで報告したように、2023年2月の全用途の乳価は100ポンドあたり21.60ドルで、前年同月から3.10ドル低下した。トウモロコシ価格は1ブッシェルあたり6.80ドルで、前年同月より0.71ドル上昇した。アルファルファ乾草の価格は1米トン(907.2キログラム)あたり266ドルで、前年同月から46ドル上昇した。プレミアムアルファルファ乾草の5州加重平均価格は、1米トンあたり324ドルで、前年同月より42ドル上昇した。大豆粕価格(米国農務省・農業マーケティング局(USDA-AMS)の報告による)は、1米トンあたり500.53ドルで、前年同月から19.57ドル上昇した。

NASSが報告する生乳・飼料価格比(購入飼料費に対する乳代の比率)は2023年2月に1.58で、前年同月から0.48ポイント低下し、2021年8月以来最低となった。2023年の当初の12週間は、乳牛の淘汰が非常に活発となり、前年の同期間を概ね上回った。

2023年2月の輸出量は、乳脂肪分換算乳量で8億2100万ポンドとなり、前年同月より1億8700万ポンド減少した。無脂乳固形分換算乳量では、輸出量は39億1700万ポンドとなり、前年同月を1億2000万ポンド上回った。

製品別の輸出額をみると、ホエイタンパク濃縮物1920万ポンド(1030万ポンド減)、バター

760万ポンド(360万ポンド減)などが、前年同期比で顕著に減少した。

一方、乳糖8400万ポンド(2060万ポンド増)、ホエイ粉末3560万ポンド(3100万ポンド増)などが、前年同期比で顕著に増加した。

2023年2月の乳製品の輸入量は、乳脂肪分換算乳量で、25億4800万ポンドで、前年同期より1億8100万ポンド増加した。無脂乳固形分換算乳量では、5億6500万ポンドとなり、前年同期より9400万ポンド増加した。製品別にみるとは、チーズ2210万ポンド(390万ポンド増)、バター870万ポンド(320万ポンド増)など、一部の主要製品で前年同期を上回った。

2023年2月の乳製品の国内使用量は、乳脂肪分換算乳量で、166億5400万ポンドとなり、前年同期より5.7%増加した。無脂乳固形分換算乳量では、137億8700万ポンドとなり、前年同期より1.2%増加した。

2023年の牛乳乳製品予測

2023年の生乳生産量は2287億ポンド(約1億40万トン)と予測され、先月の予測より2億ポンド増加した。乳牛の平均頭数は940万頭で、先月の予測より1万頭増加した。1頭あたりの年間生乳量は先月より10ポンド減少し、平均2万4335ポンド(約1万1000キロ)と予測される。

2023年の乳製品輸出予測は、価格競争の激化と米国産乳製品に対する国際需要の予想される減少により下方修正されている。乳脂肪分換算乳量は、先月の予測よりも8億ポンド低い122億ポンドに調整された。無脂乳固形分換算乳量では、先月の予測より12億ポンド少ない507億ポンドに調整された。

2023年の乳製品の輸入予測は、より高く調整されている。乳脂肪分ベースでは、77億ポンド(3億ポンド増)に引き上げられ、無脂乳固

形分ベースでは、69 億ポンド(4 億ポンド増)に増加した。製品別には、バター、チーズ、カゼイン、乳タンパク濃縮物の輸入量は、2023 年を通して好調を維持すると予想される。

乳製品の国内使用量予測は、前月の予測から引き上げられ、乳脂肪分ベースで 2228 億ポンド(12 億ポンド増)、無脂乳固形分ベースで 1833 億ポンド(18 億ポンド増)となっている。国内の乳製品需要は年間を通じて堅調に推移すると予測され、チーズ、バター、ホエイ粉末の国内卸売価格を下支えすることが期待される。

2023 年のCHEDA チーズの価格見通しは、先月の見通しから 4.5 セント引き上げられ、1 ポンドあたり 1.855 ドルに調整された。バターおよびホエイ粉末の卸売価格も、それぞれ 1 ポンドあたり 2.420 ドル(8.5 セント上昇)および 0.425 ドル(3.5 セント上昇)と、先月の予測より高く調整された。

しかし、脱脂粉乳は需要減退が予想されるため、1 ポンドあたり 1.165 ドルと、先月予想から 6.5 セント下方修正された。チーズとホエイ粉末の平均価格の上昇が予想されるため、2023 年のクラス III 乳価予想は、先月予想より 0.70 ドル高い、100 ポンドあたり 18.25 ドルに引き上げられた。脱脂粉乳の予想価格の低下がバターの予想価格の上昇を上回るため、クラス IV の予想価格は前月の予想より 0.20 ドル低い、100 ポンドあたり 18.10 ドルに引き下げられた。2023 年の全用途プールの乳価の見通しは、前月の見通しより 0.20 ドル高い、100 ポンドあたり 20.65 ドル(1 キロあたり 0.455 ドル)に引き上げられた。

参考資料:

- 1) <https://shop.fil-idf.org/collections/publications/products/b>

[ulletin-of-the-idf-n-518-2022-world-dairy-situation-report](#) Bulletin of the IDF N° 518/2022: The World Dairy Situation Report 2022. International Dairy Federation. 2022.

- 2) <https://en.wikipedia.org/wiki/CoBank> (ウィキペディア(英語)コバンク)
- 3) <https://www.cobank.com> (コバンクホームページ)
- 4) https://en.wikipedia.org/wiki/Farm_Credit_System (ウィキペディア(英語)農業信用制度)
- 5) <https://www.nochuri.co.jp/skrepo/pdf/sr20100225.pdf> 米国協同組織金融機関の研究. 農林中金総合研究所. 総研レポート. 2010 年 2 月.
- 6) <https://www.cobank.com/web/cobank/knowledge-exchange/quarterly/adapting-to-a-slowng-economy> The Quarterly. April 2023. CoBank.
- 7) <https://www.alic.go.jp/content/001176182.pdf> 「統合が進む米国酪農産業と乳価制度改革」. 畜産の情報. 2020 年 4 月号. 第 94~117 頁
- 8) <https://www.ers.usda.gov/publications/pub-details/?pubid=106355> Livestock, Dairy, and Poultry Outlook: April 2023. USDA Economic Research Service.

(資料閲覧:2023 年 4 月 20 日)

(担当:Jミルク 国際グループ)